



みんなで子育て No.11

企業内家庭教育研修を実施しました。

企業内家庭教育研修は、平日に学校などで開催される家庭教育学級に参加することが難しい保護者のために、企業や事業所の職場研修として開催していただく家庭教育研修です。各会社や個人が抱えている課題を克服し、「ワーク(仕事)」と「ライフ(生活)」のバランスを保ち、「家庭を大切にする」ことが「企業を元気にする」という思いで、研修や講師のコーディネートをしています。

岐阜県金属工業団地協同組合

実施日：令和2年11月16日(月)12:15~13:15
講師：岐阜県図書館 企画課 企画振興係 和田聖子氏



研修テーマ：『図書館の活用方法』



昨年に引き続き岐阜県金属工業団地協同組合様から、月例会の研修の時間に行おうと、お声をかけていただきました。県図書館の資料が7点、各務原市立中央図書館の資料が5点と非常に多くの資料が配られました。

《研修内容》 中小企業経営者32名 半数以上60代以上の方が参加

●「ご家庭での絵本の読み聞かせ」

家庭教育支援条例の説明から始まり、家庭での絵本の読み聞かせについて、その魅力やポイント、気を付けること、絵本の選び方等、実演を交えて丁寧に進められました。地元の各務原市立中央図書館の紹介もありました。

●図書館の活用方法

100万冊の資料、電子辞書、データベースによる企業情報やマーケティング情報の利用などを紹介し、図書館司書がサポートすることができることについて話されました。また、生活の中の困りごとの解決にも利用できると紹介されました。

あなたの「しごと」、応援します!

岐阜県図書館のビジネス支援

データベース

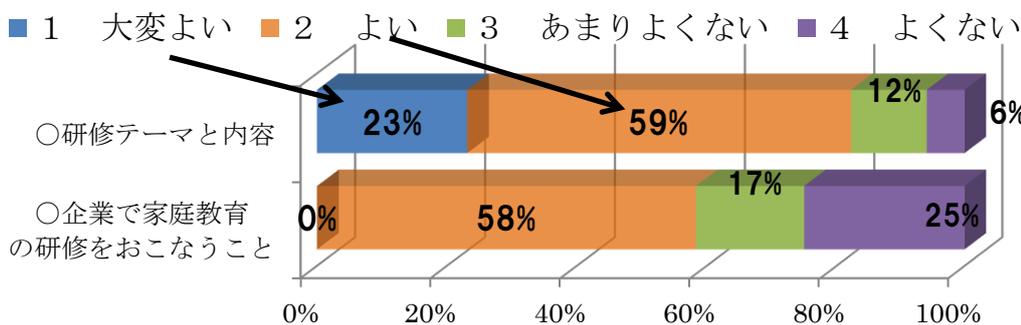
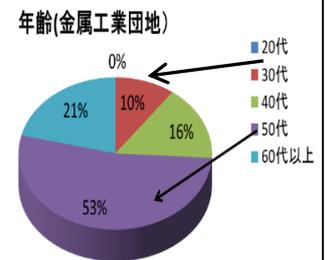
- 1 企業情報検索がしやすい
- 2 最新情報・最新情報も取りやすい
- 3 得意先や取引先に関する情報が豊富
- 4 検索も簡単

「しごと」をサポートする4つの特色

- 100万冊の資料
- データベースで最新情報を
- 職員がサポート
- 専門機関を紹介

《参加者の感想》

- ・ ちょうど子どもが1歳を超えて、絵本の読み聞かせを始めたところだったので、タイミング的に非常に良かった。
- ・ 久しぶりに図書館に行ってみようと思いました。
- ・ 大人自身が楽しむことが大切だったことが自分の3人の子育てを思い出すとよく理解できる。
- ・ 将来子どもに子どもができて孫に読み聞かせる絵本を選ぶことになる際の参考になった。
- ・ 出産祝いに絵本を送ると本の内容で贈り手の気持ちを伝えられる。
- ・ 孫と一緒に絵本を読む
- ・ 社員に対して読書の必要性はあると思う。
- ・ もっと企業のデータベースの説明が欲しかった。



企業内家庭教育研修を今年度新規で実施。岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業です。

岐阜市教育文化振興事業団

実施日:
令和2年11月19日(木)
14:00~15:00



研修テーマ:「ワーク・ライフ・インテグレーション ～価値観のリセット～」

講師: 心理セラピスト 若井 沙苗 氏

●研修内容 職員17名参加

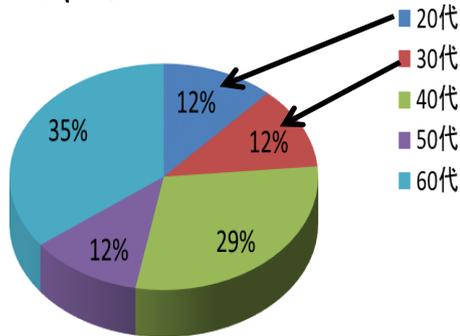
人数を絞り、指定席でグループを決め、距離を開けました。グループは講師が年齢や事業所が重ならないように指定されました。最初にグループで自己紹介し、演題の「ワーク・ライフ・インテグレーション」について、どんなイメージかを交流しました。その後自分の価値観を用紙に記入し、自分のこと、仕事やワークライフバランスを含めた項目について交流を行いました。その発表する時間を取ることで、個々の価値観の違いについて気づきが出てきました。

最初に「同じ価値観がある人はいない」という講師からのお話がありました。「自分の価値観について」書く際に、例示があり、多くの時間を確保したことで内容が深まり、交流がスムーズに進められていました。参加者からは「若い人の価値観の違いがわかった。昔の働き方とは違う」「年齢の高い人と話すことが少なかったので、話すのが心配だったがよく聞いてもらえて安心した」という発言があり、充実した時間となったことがわかります。家庭でも話せる環境や価値観の違いについて認めていくことの大切さが伝わったと感じました。

《参加者の感想》

- ・年代の差が大きいので、一緒に働く方の考え方の片鱗が見えた気がしました。若いことを理由のすべてにされるのが嫌だなと感じていたけど、少し変わりそうです。
- ・働くということがまだ正確に認識できていない中で様々な年代、経験をしてきた方とディスカッションできて、また新しいイメージができてよかった。
- ・ワークとライフのバランスに留まらない、価値観は自分の思いこみということが自分を見つめ直すきっかけとなった。
- ・人権研修のように自分を見直し人に優しく(尊重)していこうと思えるきっかけとなった。
- ・価値観の違いについては、職場でも家庭でも大切な内容なのでとてもよかった。
- ・まず自分自身に生かすことです。家庭や職場→それぞれの人が参加するとよい。

年齢(岐阜市教育文化振興事業団)



■ 1 大変よい ■ 2 よい ■ 3 あまりよくない ■ 4 よくない

